



報道発表

2022年7月15日

株式会社 Mitate Zepto Technica への新規投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、株式会社 Mitate Zepto Technica（略称：MZT、本社：東京都渋谷区、代表取締役：原島圭介）に対する新規投資を実行しました。

○今回の投資の概要

MZT は、国立大学との共同研究により次世代シーケンサ（NGS）におけるゲノム解析の高速化を実現するゲノム解析専用半導体（以下、ASIC：Application Specific Integrated Circuit、特定用途向け集積回路）を開発するスタートアップです。

ゲノム解析は生物の持つ遺伝情報を構成する DNA 分子の塩基配列を決定して解析する技術で、疾患原因遺伝子の解明や創薬、がんゲノム診断、創薬といった医療における幅広い分野で利用されています。ゲノム解析では、NGS が測定する断片的に分散した DNA 分子の塩基配列を並び替えて塩基配列を決定する膨大なデータ処理が必要です。そのデータ処理を実行するためには高度な計算性能を有するコンピュータが要求され、長い処理時間とマシンコストが課題であり、ゲノム解析が普及する上で障壁となっています。これらの課題に対し、MZT はゲノム解析専用 ASIC を開発して高速データ処理と低コスト化を目指しています。

京都 iCAP は MZT が開発するゲノム解析専用 ASIC が、ゲノム解析の律速となっているデータ処理速度とコスト高の解決に貢献することを期待し、5,000 万円の新規投資を実行しました。今回の調達総額は総額 1.5 億円で、京都 iCAP の他に株式会社 Monozukuri Ventures が運営する投資事業有限責任組合、個人投資家が参加しています。MZT は今回の資金調達により、ゲノム解析の高速化と低コスト化を目指した専用 ASIC の設計開発、及び ASIC を搭載したハードウェア・アクセラレータの開発を進めます。

株式会社 Mitate Zepto Technica 概要

設立 2020年7月
事業内容 ゲノム解析専用半導体の開発販売
本社所在地 東京都渋谷区
代表取締役 原島 圭介（はらしま けいすけ）



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp